



おなづか

<http://homepage3.nifty.com/webonazuka/>

発行者 大田区立おなづか小学校 校長 酒巻 浩二

学校公開を終えて

～道徳性を身に付けるには～

校長 酒巻 浩二

5月30日(土)に学校一日公開・道徳授業地区公開講座を行いました。当日は雨の降る中、550名を超える地域・保護者の皆様においでいただきました。子どもたちにはどんなにか励みになったことでしょう。本当にありがとうございました。

5校時の道徳の授業に続いて、道徳授業地区公開講座を行いました。講師として適応教室「つばさ」蒲田教室教育相談員で本校前校長の野崎 仁先生をお迎えして「学校と家庭と連携した道徳教育の在り方」という演題で講演会が行われました。

私たち教師にとっても、また地域・保護者の皆様にとっても、これからの教育を考えるための示唆をいただきました。要旨を紹介させていただきます。

『子どもに道徳性を身に付けるのが道徳教育です。それは普段着の中で行うもので、特別なことではありません。学校ではすべての教育活動の中で行います。例えば、遠足に行って他の乗客に迷惑をかけないように指導するのも道徳です。家庭や地域でも道徳教育が行われています。』

家庭こそが道徳の第一歩を教えます。「三つ子の魂、百まで」という諺の通りです。家庭では、善悪の区別をつけること。子どもの言うことをよく聞くこと。コミュニケーションをとること。温かさ優しさをもって接することがまず大切です。

しつけを躰と漢字で書きますがどうでしょうか。し(してみせる。行動)一つ(慣れさせる。癖をつける。)が本当ではないでしょうか。

子どもクラブでは、時間を守ることやあいさつを交わすことをやっています。クラブできちんとできることは、学校の授業でもきちんとできるはずです。町会の行事であいさつを交わすことも同様です。

おなづか小学校では、○返事(自分を大切にする) ○あいさつ(相手を信頼し、大切にする) ○あとしまつ(自分の営みを大切にする。次への備えをする)を重点に指導しています。その意味を考えて今後も進めてほしいです。

「早く読まない大人になっちゃうよ。」と、どなたかが子どもの頃の読書の大切さを話されていました。読書を通して、他人の悲しみを自分の悲しみとを感じる心を育てたいものです。いじめの解決には卑怯(ひきょう)を憎む心を育てることが必要です。それは、現実の事件から教えるのは無理で、読書を通して教えることが重要です。』

今月の給食費の引き落としは、6月5日(金)です。

6月の行事

日	曜	行 事
1	月	振替休日
2	火	環境集会・環境週間始
4	木	歯科講話(朝会にて)
5	金	教育実習 終了 外国語活動
8	月	委員会活動
9	火	5年 伊豆高原移動教室事前検診(午後)
10	水	5年伊豆高原移動教室 開始
12	金	5年伊豆高原移動教室 終了
15	月	クラブ活動
16	火	児童会 安全指導
18	木	避難訓練
19	金	外国語活動
22	月	クラブ活動
23	火	水道キャラバン(4年)
24	水	午前授業(6-1のみ下校2時30分)
25	木	リチャード・エレジーノさんコンサート(3校時)
29	月	クラブ活動 水泳学習始

通知表「あゆみ」について

評価担当 樋口 智子

今学期の子どもたちの学習や生活の様子をお知らせする通知表について、下記の通りお知らせいたします。

(1) 学習の記録について

各教科の学習の観点を示し、各観点ごとに絶対評価(到達度評価)で表示しています。評価は、現時点のお子さんの様子です。これをもとに学習方法を改善したりさらに伸ばしたりするための資料としてご活用下さい。

(2) 生活の記録について

それぞれの項目についてお子さん個人の絶対評価で表示しています。

(3) 所見欄について

学習や生活の様子で顕著な事柄について記述しています。よくお読みいただき、お子さんの良さと努力した点については、認めほめてあげてください。

通知表の中身をご理解の上、お子さんの努力と成果を感じとっていただき、次への意欲につながるような活用をお願いいたします。新聞やテレビなどの報道でご存知かと思いますが、学習指導要領(文部科学省が定めている教科書や学校での指導内容のもとになるもの)が変わります。23年度の全面実施に向けて、今年度より先行実施が始まりました。それに伴い、「あゆみ」も校内で検討し変更をしました。今年度は、「あゆみ」の評定が低学年同様、中学年からなくなります。(詳細は、保護者会でご説明します。)